

防犯用
ミニ DIY カメラ
AT-1200



取扱説明書

目次

安全上のご注意 P. 4

はじめに

パッケージ内容の確認	P. 4
製品仕様	P. 4
各部名称と寸法	P. 5
カメラの特性について	P. 6

接続と配線

配線イメージ	P. 8
配線ルートの確保	P. 8
取付け前の映像確認	P. 9

カメラの取付け

ブラケットの取付け	P. 10
カメラとブラケットの取付け	P. 11

保証書

裏表紙

このたびは、AT-1200をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
製品を、安全に正しくお使い頂くため本書をよくお読みになり十分にご理解の上使用して下さい。
本書は、保証書付ですので大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管して下さい。

■絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 **注意** (警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左の例は感電注意)

 **禁止** の行為であることを告げるものです。(左の例は分解禁止)

 **行為を強制したり指示する内容を告げるものです。**
(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

-  **免責事項**
- 本製品は、盗難防止器具・犯罪防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害について当社は一切責任を負いません。
 - 製品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
 - 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災・第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失・誤用・その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。

警告

 **水などがかからないようにしてください**
■本製品の上に(花瓶・植木鉢・コップ)や水などの入った容器または金属物をおかないで下さい。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

 **分解・改造しないでください**
■本機を分解・改造しないで下さい。事故・火災・感電の原因となります。

 **異常状態で使用しないでください**
■発熱していたり煙がでている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。その際はすぐに使用を中止して下さい。煙や臭いが出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼下さい。お客様による修理は危険ですので絶対にしないで下さい。

 **この機器の取扱について**
■表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。
■本機や付属のケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりしないで下さい。機器やケーブルが破損し火災・感電の原因となります。
■濡れた手で本製品に触れないで下さい。感電の原因となります。

 **異物が入った時は**
■本製品を濡らさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
■異物や水が本機内部に入った場合は、ACアダプターを抜いて、販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。

 **落したり、破損したときは**
■本機を落したりして、破損した場合は使用を中止し販売店にご連絡下さい。

注意

 **設置場所について**
■ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。
■湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
■炎天下の車中等に放置しないで下さい。製品が加熱・変形・溶解することがあります。

 **この機器の取扱について**
■本機に付属のケーブルをストーブ等の熱器具に近づけないで下さい。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
■ACアダプターを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張らないで下さい。ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

 **ご使用にならないときは**
■ご使用にならないときは、安全のためACアダプターと接続を行わないで下さい。

 **本機の上に重い物を置かないで下さい**
■重い物を置くとバランスが崩れて、転倒・落下等でけがの原因となることがあります。

はじめに

■パッケージ内容の確認

製品のパッケージを開封されますと、下記の物が入っておりますのでご使用前にご確認下さい。

- | | |
|--------------|-----|
| ①AT-1200本体 | × 1 |
| ②接続ケーブル(20m) | × 1 |
| ③先端ケーブル(3又) | × 1 |
| ④ACアダプター | × 1 |
| ⑤取付けブラケット | × 1 |
| ⑥取付け用ネジセット | × 1 |
| 取扱説明書(本書) | × 1 |
| 保証書(本書裏表紙) | |



※付属品の外観や仕様は改良の為に予告なく変更する場合があります。

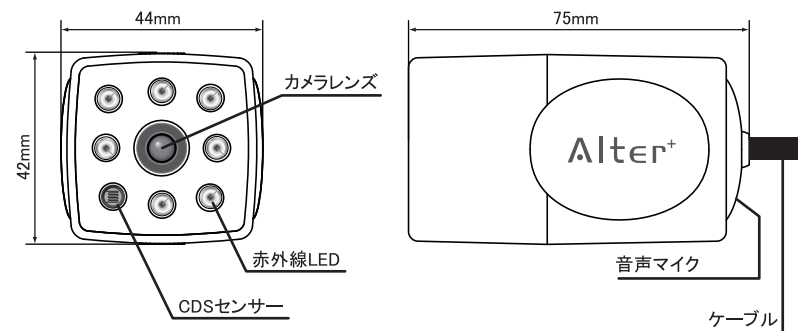
■製品仕様

撮像素子	1/4型カラーCMOS	シャッター速度	1/60~1/200,000(自動)
有効画素数	32万画素	ホワイトバランス	自動
撮像方式	NTSC(カラー)	映像出力端子	RCAピンプラグ(黄色)
レンズ	3.6mm f: 1.8	音声出力端子	RCAピンプラグ(白色)
映像出力	1.0Vp-p 75Ω	保護等級	IP54
同期方式	内部同期	消費電流	50mA(通常) 130mA(赤外線ON時)
水平解像度	390 TV Lines	消費電力	1.6W(最大)
最低被写体照度	カラー: 1Lux 赤外線: 0Lux	電源・電圧	DC 12V 300mA (専用アダプター)
S/N比	46dB	動作温度範囲	-5~+50℃
画角(視野角)	水平: 58° 垂直: 43°	外形寸法(mm)	44(W) × 42(H) × 75(D)
赤外線LED数	7個	質量(本体)	約85g
赤外線投光距離	最大3m	月々の電気代	約25円
		月々のCO2排出量	約0.44kg

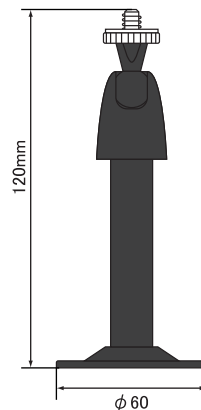
■各部名称と寸法

製品の各部名称は以下になります。
本書では操作説明時の名称等で以下の名称が使用されております。

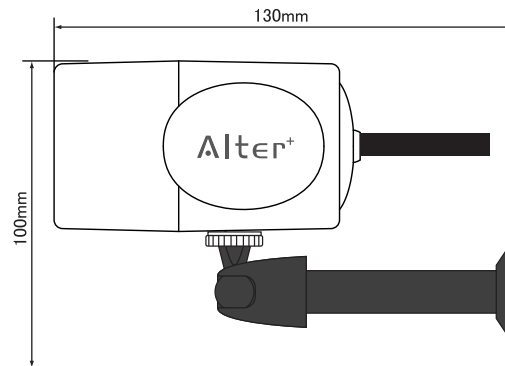
●カメラ本体



●取付けブラケット



●取付寸法



はじめに

■カメラの特性について

本項目はお客様が本製品をご使用する際に必要な情報、注意点を記載しております。ご使用前に下記内容をよくお読みになり製品の特性や最適な設置環境等をご理解いただいてからご使用下さい。

●カメラの防水性(保護等級)について

IECが定める保護等級[IP54]に相当する防滴仕様となっており、直接雨のかかる場所ではご使用になれません。玄関先などへ設置の際は雨水などが直接かからない場所、ホコリ・振動の少ない場所へ設置してください。



●昼間撮影について

直射日光や強い光が当たる場所(逆光状態)や背景が白っぽい場所、では被写体の映像が映りにくくなります。本製品は可視光の他に赤外線を映すレンズが搭載されているため、撮影環境や被写体の材質によって実際目に見える色とは異なって映ることがあります。



実際の昼間撮影映像

●植物等が白く変色して写る

本機は、夜間撮影のために赤外線を捕らえるレンズを搭載しております。昼間撮影時、太陽光に含まれる赤外線を強く反射する素材(植物の葉やナイロン素材)を撮影した際に白っぽく変色して映る場合があります。製品の仕様上起きる現象であり故障ではありません。

●夜間撮影について

夜間撮影時はカメラから赤外線を投光し被写体が赤外線を受けることで映像の撮影が可能になります。[AT-1200]は約3m赤外線撮影が可能です。しかし、赤外線の投光範囲内に被写体が無い場合は何も映らない状態となります。また、夜間は昼間の映像に比べてノイズが多く、被写体や周囲の明るさで映像品質が異なります。



被写体まで約2.5m

別売オプションのご紹介

本機をさらに快適・有効にご利用いただくために別売のオプションをご用意しております。お求めの際は当製品をお買い上げの販売店でご購入またはご注文いただくか弊社まで直接お問い合わせ下さい。

リアルダミーカメラ

AT-1200D

価格 : オープンプライス
JAN : 4560270960450



本機(AT-1200)と同じ形のダミーカメラ。一般のダミーカメラと違い実際のカメラと同じ形状なのでダミー(偽物)と見破られにくく高い威嚇効果を発揮できます。

クリップ型ブラケット

CB-04

価格 : オープンプライス
JAN : 4560270960368



ネジ止めできない場所でもクリップで挟んでカメラを固定

延長ケーブル

AL-610 (10m)

価格 : オープンプライス
JAN : 4560270960054



AL-620 (20m)

価格 : オープンプライス
JAN : 4560270960061

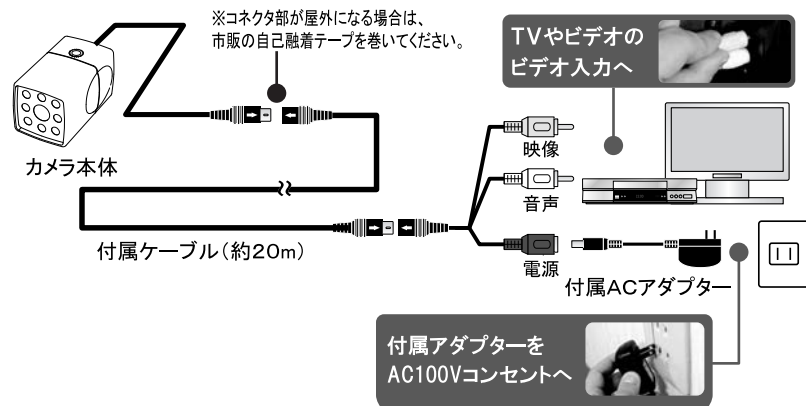


付属のケーブルで距離が足りない場合にご利用ください

接続と配線

■配線イメージ

ケーブルの接続イメージは以下に行います。



■配線ルートの確保

カメラの配線は壁伝いにします。

設置場所からモニター位置まで配線ルートをおおきく想定し、ケーブルの距離が十分であるか確認してください。

また、カメラのケーブルは手の届かない場所や周囲から見えにくい場所を選んで配線することをお勧めいたします。必要に応じて市販のモールやP F 管、パイプ等を利用して配線を隠す方法もあります。

●屋外から屋内へのケーブル引き込み

屋内への配線の引き込みはエアコンのダクトや換気扇やドアサッシの隙間を利用して行うと設置が容易です。

一般的にドアやサッシ上部の角には5mm 程度の隙間が確保されていますのでご確認ください。配線の際はドアの開閉でケーブルを傷つけないように慎重に確認・設置を行ってください。

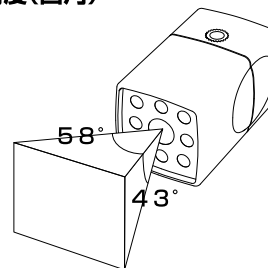
どうしても引き込み場所が無い場合は壁面に15mm 程度の穴を開けて屋内へ引き込んでください。

■取付け前の映像確認

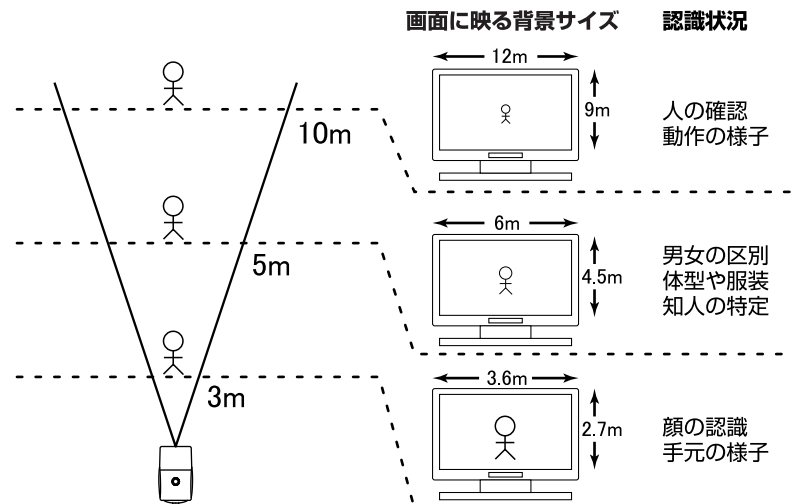
実際にカメラを設置する前に、設置予定の場所にてカメラの撮影範囲や色合い、画質等の映像確認を行ってください。

カメラ取付け後は、向きの変更等のわずかな調整しかできませんので必ずカメラ設置前に確認してください。

●撮影角度(画角)



●撮影距離と範囲



カメラの取付け

カメラの映像確認や配線ルートを決めたらカメラを壁面または天井に固定します。

■ブラケットの取付け(壁面)

1. 取付け場所の位置決め

ブラケットを壁面に押し当て、取付ける位置を決めます。

※位置を決めたら壁面にペン等でブラケットの輪郭を書いておくと設置がかんたんです。

2. ドライバーを使ってネジ締め

付属の“取付けネジ”を使って
取付けブラケットを固定(3箇所)します。

コンクリートに取付ける場合

コンクリートの壁面に設置する際は、予め壁にφ5.5～6.0mmの穴を開けて付属の“コンクリートアンカー”を打ち込みます

●天井取付けの場合

壁付けと同じ手順で取り付けを行ってください。

■カメラとブラケットの取付け

1. カメラをブラケットに取付ける

カメラ下側のブラケット穴とブラケットのネジ穴をあわせてブラケット側のネジを回して固定します。

※ブラケット側のネジが回らない場合は
ブラケットのつまみを回して緩めてください。

2. ブラケットのつまみを締めて固定

カメラを取付けたらカメラの角度(向き)を決め、ブラケットのつまみを手で締めてしっかりと固定してください。

●天井取付けの場合

カメラ上側のブラケット穴を利用してください